

令和元年 9月12日(木)

全校朝礼 ～ 校長講話 ～

9月12日の全校朝礼は、西岡誠校長による講話でした。テーマは、先日行われた創立110周年記念行事の式辞でも話して下さった「百錬鉄魂」についてです。以下、講話の概要です。

【講話の概要】

夏休みに県内外の同窓会支部に出席し、同窓生の方々の松工生時代の話をたくさん聞かせていただきました。いくつかの部活動が全国大会に出場したこと、今も現役が全国大会に出場したら試合会場まで行って応援していること、全国大会が行われる開催地の同窓生は出場を待ち望んでいることなどの話がありました。

名門校といえば、皆さんはどのような学校をイメージしますか。過去に訪問した熊本工業高校も、名門校の一つではないかと思っています。熊本工業高校には部活動の遠征で訪れたのですが、部活動に来ている生徒がすぐに、誰ともわからない私に元気な声で挨拶してくれました。練習前に黙々と掃除をしている姿、きちんと整理整頓されている下駄箱や用具。学校のほんの一部しか見ていますが、学校全体の雰囲気や伝統と品格を感じました。名門校といわれる学校は、実績は言うまでもありませんが、礼儀を重んじ、節度や規範を守るなど、人間教育が徹底されている、そして、その積み重ねによって信頼を得て、地域や周囲にも認められているのではないかと思います。松工が名門校を目指すためには、皆さんも、挨拶や清掃、礼儀、節度のある行動、正義感に基づく行動を日頃から心がけて欲しいと思います。

また、学校には、教育の柱とも言うべき校訓があります。今、重要とされる「主体的、創造的、協同的な学び」と共通するものであり、時代が変わっても、普遍性のある校訓であることを改めて感じます。

本校教育の真髄は、百錬鉄魂の言葉に集約されていると思います。校歌からの引用ですが、工業高校にふさわしく、いろんな所で使われています。では、百錬鉄魂とは、何でしょうか？私が考える百錬鉄魂とは、困難な状況にもかかわらず、諦めず忍耐強く自己練磨することだと考えます。鉄は熱いうちに打てと言われるように、卒業してすぐ社会に出て働く生徒が多い本校では、高校3年間で培っておく必要があります。

そして、本校の名物といえば、松工体操です。毎年、運動会で1年生が学習成果として演技を発表します。今、1年生は1学期からずっと練習してきておりますが、たかが体操、されど体操です。辛いと思う時もあるかもしれませんが、運動会当日を目指し、最後まで全力で取り組んでください。一生懸命に練習し、運動会当日、松工体操をやり遂げたとき、百錬鉄魂が吹き込まれ、松工生としての自覚と自信が生まれます。

これからも、自分にとって、名門校とは、百錬鉄魂とは何か、を問い続け、自分なりに答えを探しながら、自分自身をバージョンアップさせてください。そして、一人一人の力の結集が学校全体の躍進につながると信じています。



全校朝礼(校長講話)



講話をする西岡誠校長